

石西通信

練馬区立石神井西小学校
学校通信 学校評価特別号
平成30年3月発行

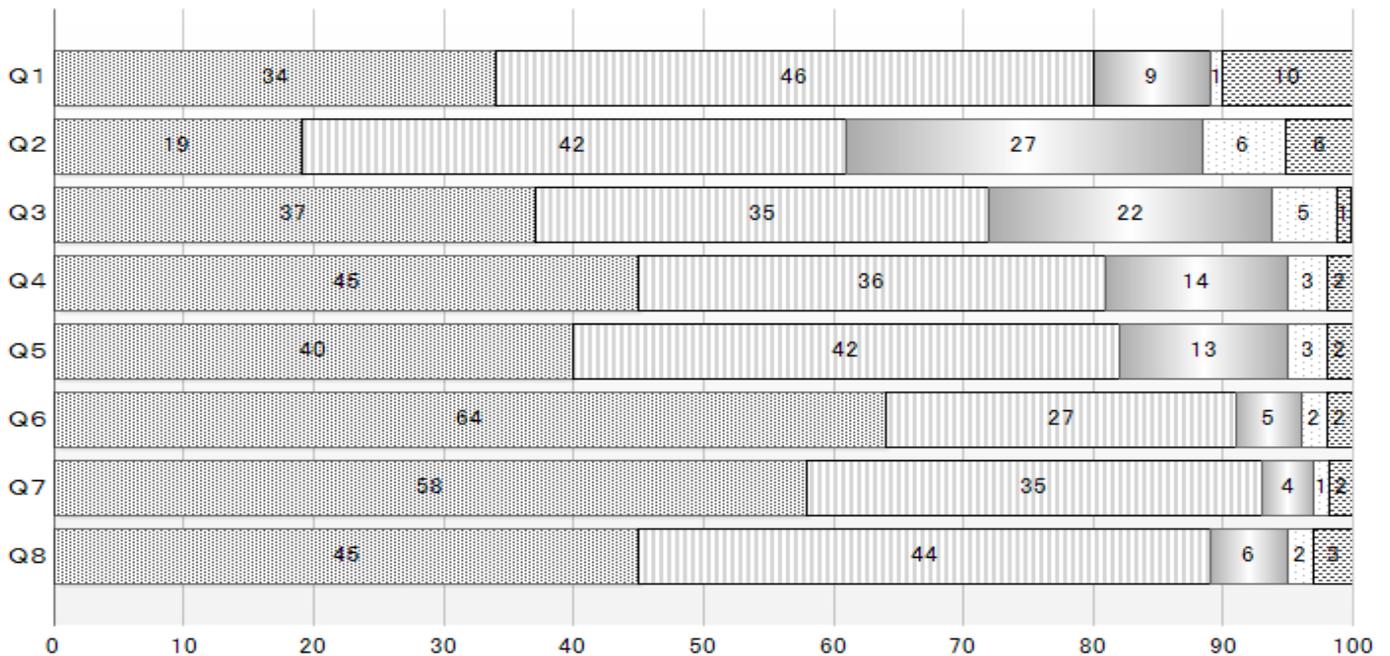
日頃より、本校の教育活動にご理解をいただきまして、誠にありがとうございます。また、学校評価アンケートにもご協力いただきまして、心よりお礼を申し上げます。

集計がまとまりましたので、お知らせいたします。この結果を教育活動改善のための貴重な資料とさせていただきます。今後ともよろしくお願いたします。

平成29年度 学校評価アンケート

1 実施方法	アンケート調査による			
2 実施時期	平成29年12月～30年1月			
3 調査人数	児童380名	保護者 252名	教員 20名	
4 回収率	児童100%	保護者86.30%	教員 100%	

《保護者アンケート結果》



■ そう思う ■ 少しそう思う ■ あまり思わない ■ そう思わない ■ わからない

- Q1 子どもが主体的に考えたり発表したりする授業を行っている。
- Q2 子どもは文章を書く力が身に付いてきた
- Q3 子どもは読書に親しんでいる
- Q4 子どもは外で元気に遊んだり、進んで運動したりしている
- Q5 子どもは好き嫌いなく食べるようになってきた
- Q6 子どもは楽しく学校に通っている
- Q7 子どもは友達と仲よく生活している
- Q8 学校はHPやメール、学校だより、学年・学級だよりなどを通して学校の様子を伝えている。

《保護者の皆さまからのご意見》

1. 学習について

- ・宿題では、必ずやる物、やりたい人がやる物、○曜日だけやる物など明確に指導してもらえると子供が理解しやすく家庭の支援もできる。
- ・もっと主体的に発表のできる環境作りをしてほしい。
- ・先生方は、授業を工夫したり一人一人の個性を大切にしてくれたりしている。
- ・子供たちには自分の考えをもっと述べられる人になってほしい。
- ・文章を書く力、文の構成力、感じたことを書く力が増えてほしい。話す、行動してみるなど、子供たちが積極的に取り組める授業スタイルが増えてほしい。論理的思考力を養うために必要なことを提示してほしい。
- ・外国語の授業がもう少し増えてほしい。
- ・教科書指導だけでなく、作文やグループで発表の機会が多く学びの幅が広がっている。

〔学校より〕

- ・新学習指導要領で求められている「主体的・対話的で深い学び」の視点からこれからも授業改善を図っていきます。
- ・新学習指導要領では、2020年から3、4年生は外国語活動を35時間、5、6年生は外国語科を70時間実施することになっています。本校では次年度、1、2年生は12時間（本校の特色として実施）、3、4年生は20時間、5、6年生は50時間実施します。（3年生以上の外国語の授業を2年間かけて段階的に増やしていきます。次年度は、5、6年生の授業時数を今年度より15時間増やします。）

2. 読書活動について

- ・読書に力を入れているところは、とても良い。子供達にはたくさんいろんな本を読んでいるような価値観や存在を知ってさまざまな可能性を見出して欲しい。
- ・「年間目標の120冊読書、達成する！」と熱心に取り組めました。先生のご指導と友達との刺激が頑張る励みになっていた。読書の年間目標があるせいか、自分からすすんで本を読むようになり、よい習慣であると思う。
- ・「本だいすき」のおかげで読書をよくするようになった。明確に「自分がこれだけ読んだ」というのがわかるので、本人の自信にもつながっている。
- ・図書の授業をととても喜んでおり、様々なことを学んでくるので、この取り組みは力を入れて高学年でも続けて欲しい。子供たちの情緒面を育てていくためにもとても有意義な時間である。

〔学校より〕

- ・肯定的なご意見を多くいただきました。さらに子供たちが本に慣れ親しむ事が出来るようご家庭の協力も得ながら取り組んでまいります。

3. 運動・体力について

- ・体力テストの結果が低い傾向が続いているようなので、体力作りに力を入れてほしい。
- ・体育に関しては、梅雨時だけでも合同体育にし、体育館で体を動かせるようになると良いと思う。雨の多い梅雨時等運動不足になりトラブルも起きがちに思える。
- ・普段の運動が足りてないので積極的に外で運動するように引き続き働きかけて欲しい。

〔学校より〕

- ・学校では、中休み、昼休みには外遊びを推奨し、担任も子供たちと一緒に関わりながら遊ぶことが多く見られます。体育の授業では、サーキットトレーニングを行っています。運動の仕方の基礎を学び、体力向上を図ります。体力向上のためには、普段の生活で体を動かすことが大切です。ぜひ、ご家庭でも体を動かすことをお勧めください。そしてお子様と一緒に外遊びなどもご協力ください。

4. 食育について

- ・給食で様々な食材が食べられるようになり、ずいぶん大きく成長したと思う。

- ・給食を楽しみ、友達とのやりとりも楽しめていると感じる。
- ・給食の様子について、詳しくはわからないが、好き嫌いが多い状態は続いている。
- ・栄養バランスのよい給食を提供してもらって感謝している。
- ・給食では苦手な食材でも頑張って食べている。

〔学校より〕

- ・学校給食では残さず食べるが家庭ではそうではないということを時々耳にします。学校では、大勢で楽しい雰囲気の中で、嫌いで食べられなかった物が食べられるようになることもあるようです。ご家庭でも食事の時間を通して、マナーや栄養のバランス、作ってくださった方への感謝などご指導ください。

5. 生活について

○思いやり

- ・子供自身で考え、本当の友達を見つけられる力を育てていけたらと思う。相手を思いやり、相手の立場で考えることのできる人間力について家庭でも話していきたい。
- ・高学年と低学年の子供達の交流が良い形で行われていると感じる。他者を思いやる気持ちが育っている。先生の指導が大きい。先生の姿を通じて子供達も成長する。
- ・毎日楽しく学校に通っている。多少のもめごとはあるようだが、自分たちで考えて友達と接しているようだ。
- ・先生は子供の様子をよく見て、自主性も伸ばしてもらっている。厳しすぎず、伸び伸びと寛容な対応のおかげで楽しく学校に通えている。失敗は必要以上に注意しなくても反省ができていようだ。友達とけんかしていることもあるが、翌日には仲直りしていて、後を引くことなくやっっているようで良い。

○あいさつ

- ・登下校時は子供たちの大きな声での挨拶が返ってこない。挨拶は大人からされるものと感じているのか、自らしてきてくれる子は皆無である。また子供達同士で挨拶を交わし合う姿も見ない。

〔学校より〕

- ・石西小では、シャクニーシーという縦割り班活動があり、全学年で遊ぶ児童集会もあります。全校で関わることもあり、仲良く生活しています。学校生活の中では、友達とトラブルもいろいろありますが、担任を始め全教職員でいじめ防止対策方針のもと早期対応に取り組んでいます。
- ・挨拶について学校では、「①自分から②顔を見て③元気な声で④笑顔で」の4つを実行できるよう指導しています。来校者の方々から、子供たちの挨拶のことで褒めていただくことも多くあります。ご家庭、地域とも連携して今後も取り組んでいきます。

6. 開かれた学校について

○学校公開

- ・学校公開日が多いことがとても良い。(学校での子供の様子を頻繁に見ることができ、他の保護者の方と顔を合わせる機会にもなるので)
- ・都合がつかず学校公開に行けなくて残念。学校の様子は子どもから聞くようにしている。
- ・家族で余暇を拡充するため、連休となる土曜日は登校日にならないようにしてほしい。
- ・参観日も多くお便りでも細かな様子を知ることができている。様々な科目や行事を限られた時間でバランスよく指導してもらっている。

○学校だより、学年・学級だより、学校ホームページ

- ・学級通信をこまめに配信していただけるのはありがたい。
- ・学級だよりでクラスの様子を知らせてもらえるのでいつも楽しみにしている。
- ・HPの更新もスピーディーで移動教室の様子もすぐに分かる。
- ・学校のHPを見ているが、学年便りの更新ができていないことがある。毎月更新して欲しい。
- ・HPが見づらい。見たいと思えるサイトにして欲しい。
- ・石西通信と学年便りの授業時数が違うときがある。

〔学校より〕

- ・今年度取り組みの一つとして、学級だよりで子どもの様子をご家庭にお知らせしてきました。高学年などは、学級だよりを発行する時間がなかなかとれない実態があります。無理のない範囲で学級だよりを発行できるよう取り組んでいきます。学校ホームページにも子供たちの活動のようすをアップしています。とくに、移

動教室や社会科見学のようなすを載せています。今後も、子供たちの活動の様子をお知らせしていきます。

5. その他

- ・運動会のプログラムをもう少し早く配布してもらえると、応援に来てくれる家族に伝えられて助かる。
- ・運動会の午後の部の開始予定時刻をメールで知らせて欲しい。
- ・昨年度より学童クラブの待機児童の増加が深刻化しているが、空き教室がないことから学校側がねりっ子クラブへの移行に難色を示していると聞いている。待機児童増加は子供達の安全に関わる重大な問題なので現状維持ではなく、早急に解決の糸口を探って欲しい。
- ・今年度、個人面談が夏休み期間中であつたが、それではクラス替えして1学期の様子をふまえて情報交換や話し合いすることができず、時期が遅すぎる。夏休み中は出かけることも多いので、夏休みに行くことはやめて欲しい。
- ・Pちゃんまつりはとても楽しいが、保護者の協力がたくさん必要であり、先生方にも休日にもかかわらず参加してもらい、ノロ、インフルエンザなど流行する時期と重なるので、なくす方向にできないか。
- ・親として学校に貢献できるようボランティアなど積極的に参加していきたい。

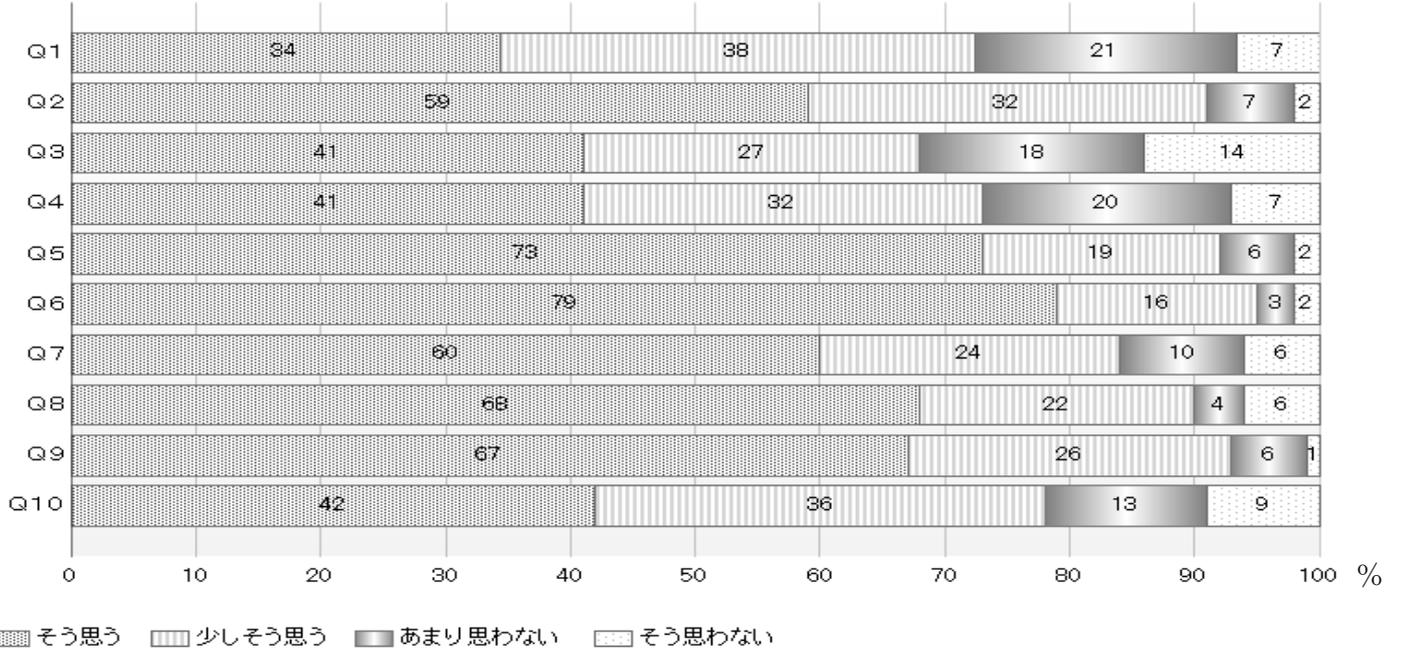
〔学校より〕

- ・運動会の午後の開始時刻につきましては、プログラムに記載してありますので参考にしてください。
- ・個人面談は、来年度も今年度と同様に夏休み期間に行います。7月24日から31日までの6日間を予定しています。ご理解・ご協力ください。1学期の子供の様子や夏休みに取り組んでいただきたい学習などについてお話をします。1学期の途中で担任に知らせたいことなどがありましたら、随時学校へご連絡ください。
- ・第2土曜日の学校公開は、練馬区全体の取組です。ご理解・ご協力ください。
- ・ねりっ子クラブへの移行について、学校が難色を示しているという事実はありません。ひろば事業を行っている学校応援団と相談しながら、適切な時期に、ねりっ子クラブに移行できるようにしていきます。
- ・Pちゃんまつりについては、PTA行事ですので、PTAと相談しながら検討していきます。

《保護者、児童アンケート結果・教職員自己評価に関する考察》

- * 「児童が主体的に考えたり発表したりする授業の実現」に関しては、保護者からは「そう思う」「少しそう思う」合わせた肯定的評価（以下、肯定的評価）は80%と、高い評価をいただくことができました。児童の自己評価でも肯定的評価は70%を越えており、良好と言えます。また、「算数の授業はわかりやすいか」という設問には、90%に及ぶ児童が肯定的評価をしており、学校として目指している「問題解決的な学習の充実」「思考力・判断力・表現力の育成」については概ね成果があったといえます。今後さらに、授業改善に努めてまいります。
- * 「児童の書く力の育成」に関しては、保護者からの肯定的評価は60%にとどまりました。また、児童の「文章を書くことが好き」に対する肯定的評価は70%弱で、あまりよい評価とはいえません。今年度、国語の「書くこと」の領域で校内研究に取り組んできたが、まだまだ取り組むべき課題が多いことが分かります。今年度の研究を生かし、来年度さらに児童が書くことを喜びと思えるように取り組んでいきます。
- * 「読書への取り組み」に関しては、保護者、児童ともに肯定的評価は70%余りで、まだ満足できる状態には達していません。学習において、読む力は聞く力とともに、情報を受け取る大きな手段です。読む力を育てるのに読書はとても有効です。しかし、学年相応の本をなかなか読むことができない児童が少なくない現状もあります。今後も読書指導を充実させるとともに、ご家庭にもご協力をいただき、すすんで読書に取り組む児童を育てていきたいと考えています。
- * 「外遊び、運動への取り組み」に関しては、保護者からは80%の肯定的評価が見られます。今後も、体育の授業での運動量の確保や場の工夫をに力を入れていきます。児童の体力向上のためには、ご家庭と連携した取組が必要です。ご家庭でも運動や外遊びに親しむ環境作りにぜひご協力ください。
- * 「子どもは好き嫌がなく食べるようになってきた」に関しては、80%を越える保護者が児童の好き嫌いがあまりないと感じていることが分かります。また、児童においても90%強の児童が、給食を残さず食べていると答えています。今後も担任や栄養士による年間を通しての食に関する指導を継続していきます。
- * 「子どもは楽しく学校に通っている」に関しては、90%を超える保護者の肯定的な評価が見られます。児童の「学級会の時間が楽しい」が80%「学校が楽しい」が90%という回答からも分かるように、児童が学校生活を満喫している様子が保護者にもしっかりと伝わっているということが分かります。どの児童も学校が楽しいと思えるような学級、学校作りを今後も目指していきます。
- * 「子どもは友達と仲良く生活している」に関しては、5%の保護者が否定的に感じ、10%弱の児童が「友達と仲良く助け合えていない」と思っています。学校がどの児童にとっても楽しく、元気に通える場になるよう全教職員が一人一人の児童に目を向け、気掛かりなことがあれば共通理解を図って対応していきます。児童の変化や心配なことがありましたら、担任や学校にぜひ相談ください。
- * 「学校はHPやメール、便りなどで学校の様子を伝えている」に関しては、保護者から90%近い肯定的評価を得ています。HPでは、学校行事や学習の様子など伝えています。中でも移動教室については児童の様子をその日のうちに載せ、多くの方にご覧いただいています。また、天候による授業開始時刻の変更や学級閉鎖の連絡は、お便りに加えメールでの配信でも行ってきました。学級だよりには、学年だよりで掲載し切れない学級での児童の様子を伝えることができます。しかし、高学年などは、学級だよりを発行する時間がなかなかとれない実態があります。無理のない範囲で学級だよりを発行できるよう取り組んでいきます。
- * 「自分には良いところがあると思う」に関しては、24%の児童が否定的に回答しています。失敗体験が多くなると自己肯定感が低くなります。「減点式でなく加点式で褒める。」「出来るようにして褒める。」「当たり前のことでもできていたら褒める。」等、成功体験を増やしていきたいと思えます。

《児童アンケート結果》



- Q1 自分の考えを発表している
- Q2 算数の授業はわかりやすい
- Q3 文章を書くことが好き
- Q4 進んで本を読んでいる
- Q5 体育の授業で一生懸命運動している
- Q6 残さず給食を食べている
- Q7 学級会の時間が楽しい
- Q8 学校は楽しい
- Q9 友達と仲よく助け合おうとしている
- Q10 自分には良いところがあると思う

《学校経営計画教職員自己評価》

領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準		
				努力指標	成果指標	
確かな学力の向上	基礎・基本を大切に、児童が主体的に学ぶ授業を行い、思考力・判断力・表現力を身につけた児童を育成する	問題解決的な学習を充実させ、思考力・判断力、表現力を身に付けさせる。	4 問題解決スタンダードによる授業を実施(80%以上)	3.5	4 数学的な考え方の観点で評定Aの児童が30%以上	3.7
			3 問題解決スタンダードによる授業を実施(60%以上)		3 数学的な考え方の観点で評定Aの児童が20%以上	
			2 問題解決スタンダードによる授業を実施(40%以上)		2 数学的な考え方の観点で評定Aの児童が10%以上	
健康な生活	安全な環境を整え、体力の向上、健康の維持増進を図る	読書活動を推進し、読書習慣を確立する	4 毎月1回は学校図書館を活用する授業を実施(80%以上)	3.3	4 学年の課題図書を4冊以上読んだ児童が80%以上	3.1
			3 毎月1回は学校図書館を活用する授業を実施(70%以上)		3 学年の課題図書を4冊以上読んだ児童が60%以上	
			2 毎月1回は学校図書館を活用する授業を実施(60%以上)		2 学年の課題図書を4冊以上読んだ児童が40%以上	
豊かな心の育成	自他の生命を尊重し、互いに認め合える豊かな心を育成する	読書活動の推進、読書習慣を確立する	4 運動量確保、目標設定、場の工夫による授業実施(80%以上)	3.7	4 体育の思考の観点で評定Aの児童が30%以上	3.2
			3 運動量確保、目標設定、場の工夫による授業実施(60%以上)		3 体育の思考の観点で評定Aの児童が20%以上	
			2 運動量確保、目標設定、場の工夫による授業実施(40%以上)		2 体育の思考の観点で評定Aの児童が10%以上	
豊かな心の育成	自他の生命を尊重し、互いに認め合える豊かな心を育成する	読書活動の推進、読書習慣を確立する	4 食に関する指導の年間計画に基づいた指導の実施(90%以上)	3.2	4 低・中・高学年別のねらいがおおむね達成できた児童が90%以上	3.1
			3 食に関する指導の年間計画に基づいた指導の実施(70%以上)		3 低・中・高学年別のねらいがおおむね達成できた児童が70%以上	
			2 食に関する指導の年間計画に基づいた指導の実施(50%以上)		2 低・中・高学年別のねらいがおおむね達成できた児童が50%以上	
豊かな心の育成	自他の生命を尊重し、互いに認め合える豊かな心を育成する	読書活動の推進、読書習慣を確立する	4 学級活動の時間を計画的、継続的に実施(80%以上)	3.3	4 学級活動(1)に意欲的に取り組む児童が80%以上	3.5
			3 学級活動の時間を計画的、継続的に実施(60%以上)		3 学級活動(1)に意欲的に取り組む児童が70%以上	
			2 学級活動の時間を計画的、継続的に実施(40%以上)		2 学級活動(1)に意欲的に取り組む児童が60%以上	
豊かな心の育成	自他の生命を尊重し、互いに認め合える豊かな心を育成する	読書活動の推進、読書習慣を確立する	4 年間35時間を確保し、授業の改善を行う(80%以上)	3.3	4 友達と仲良くし助け合おうとする態度の児童が90%以上	3.6
			3 年間35時間を確保し、授業の改善を行う(60%以上)		3 友達と仲良くし助け合おうとする態度の児童が80%以上	
			2 年間35時間を確保し、授業の改善を行う(40%以上)		2 友達と仲良くし助け合おうとする態度の児童が70%以上	
豊かな心の育成	自他の生命を尊重し、互いに認め合える豊かな心を育成する	読書活動の推進、読書習慣を確立する	4 年間8号以上発行する	3	4 友達と仲良くし助け合おうとする態度の児童が70%未満	
			3 年間6号以上発行する		3	
			2 年間4号以上発行する		2	
豊かな心の育成	自他の生命を尊重し、互いに認め合える豊かな心を育成する	読書活動の推進、読書習慣を確立する	1 年間3号以下		1	
					1	